

けがを防ぐために

ガラス繊維強化プラスチックは、表面からガラス繊維の先端が露出していることがあります。素手で触らないなど取扱いには注意しましょう。

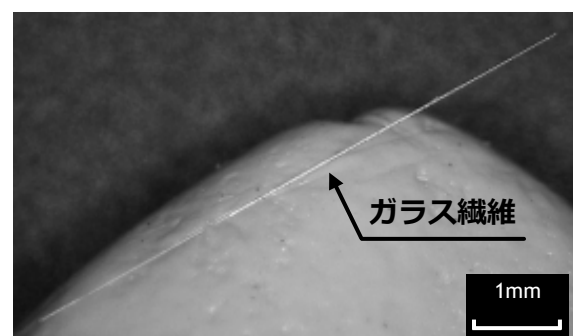
ガラス繊維強化プラスチックと通常のプラスチックとを見分けることは困難な場合もありますが、軽量で柔軟性が求められる傘の骨やテントの支柱、園芸用のポールなどに使われていることがあります。

ガラス繊維強化プラスチックは、樹脂で固められたガラス繊維が、新品時から樹脂表面から飛び出しているものがあつたり、曲げたり、プラスチックが劣化することによって、飛び出してくることがあります。また、折れたり、切断した際にもガラス繊維の先端、切断部が表面から飛び出してきます。

表面に傷がついたガラス繊維強化プラスチック製の傘骨【前頁写真②】の表面を粘土で擦ったところ、粘土にガラス繊維が刺さることがありました【写真④参照】。このことから、素手で触ると先端が露出しているガラス繊維が皮膚に刺さってしまう可能性があると考えられます。不用意に素手で触らないようにしましょう。

また、廃棄する際に、折ったり曲げたりする場合は、取扱いに注意しましょう。

写真④：粘土に刺さったガラス繊維



けがをしたら…

ガラス繊維が皮膚に刺さって痛みが続く場合は、医師の診察・処置を受けましょう。

ガラス繊維強化プラスチックを触って手・指等にガラス繊維が刺さり痛いまたは痛みが長く続く場合や自分でガラス繊維が抜けないときには、皮膚科等の医療機関を受診し、適切な処置を受けましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
無断転載はお断りいたします。



独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL：042-758-3165 ● 2015年9月発行

イラスト：川崎 敏郎

くらしの危険 Number 327

ガラス繊維強化プラスチックによるけがに注意！ -傘の骨やテントの支柱、園芸用ポールなどに使われています-

ガラス繊維強化プラスチックは、傘の骨やテントの支柱など、軽量で柔軟性が求められる部位に用いられていることがありますが、ガラス繊維は細くて肉眼では見えにくいいため、破損した部分等に触れ、けがにつながる可能性があります。

ガラス繊維強化プラスチックの表面からガラス繊維の先端が露出していることがありますので、素手で触らないなど取扱いには注意しましょう。



ガラス繊維強化プラスチックとは

ガラス繊維強化プラスチックは、太さがおよそ20μm（0.02mm）未満のガラス繊維を束ねて、その間に樹脂を浸み込ませて成形したもので、素材の組み合わせや製造方法によって特性を変化させることができます。

軽くて強い、さびない、高い電気絶縁性、断熱性、衝撃吸収性といった特性を持ち、経済的であるため、傘やテントといった日用品やレジャー用品、建築資材や住宅機材、自動車・鉄道車両部品など広く利用されています。

こんな事故が起きています

PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）*1には、ガラス繊維強化プラスチックが使用された商品に関する危害・危険情報が寄せられています。

*1：国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する情報を蓄積しているデータベースのことです。

ケース1 子どもが傘を開いて上下に振っていると傘の骨が折れて、指にとげが刺さった。
（5歳 女児）



ケース2 園芸用ポールの塗装がはげたものを処分しようとしたら、芯の部分のガラス繊維が手に刺さった。
（80歳代 男性）

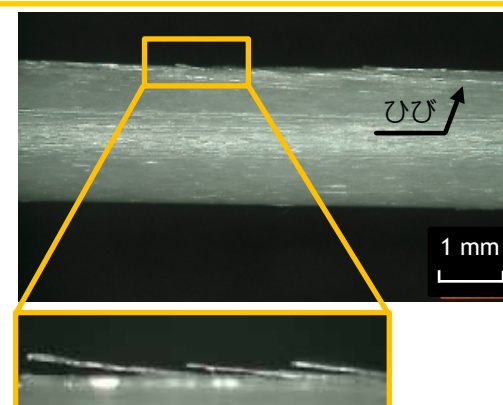
ケース3 ネット通販で購入した蚊帳の組み立て時に手にガラス繊維が付着。手に刺さり周囲にも散らばり毛布や服を破棄した。
（30歳代 女性）

ガラス繊維強化プラスチックが使われている傘について調べてみました。

日常の使用や破損時・廃棄時を想定して、曲げたり、傷つけたり折ったりした場合、ガラス繊維強化プラスチックが使われている傘の骨にどのような変化が起こるのか調べてみました。

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| ① 湾曲が繰り返された場合... | 表面にひびが発生し、ガラス繊維の先端が表面に出てくるがありました。 |
| ② 表面に傷をつけた場合... | 表面にあるガラス繊維が切断され、切断された端が露出することがありました。 |
| ③ 折り曲げた場合... | 折れたガラス繊維の先端が露出することがありました。 |

①ひびが入り、ガラス繊維の飛び出しもみられました

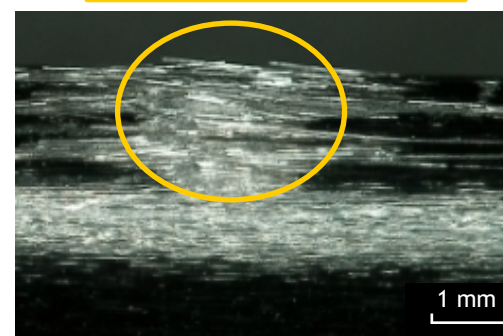


図：ガラス繊維強化プラスチックが使われている部位

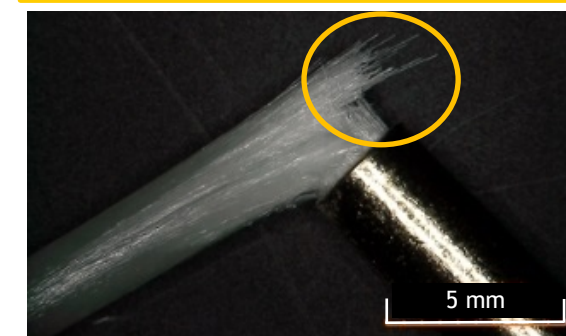


※図は、折りたたみ傘ですが、一般的な長傘の親骨にもガラス繊維強化プラスチックが使われていることがあります。

②ガラス繊維の端が露出しました



③折れたガラス繊維の端に飛び出しがみられました



医師のコメント

Q1：とげが刺さった場合、放置すると、どうなるのでしょうか？

A1：放置すると自然に取れる可能性と、中に入り込んで、痛みを生じ、炎症を起こす可能性があります。

Q2：ガラス繊維が刺さった場合、どのような処置が必要でしょうか？

A2：まずは、ガムテープ等粘着力の強いテープで皮膚に刺さったガラス繊維を除去することでしょうか。それでも痛みがあるならば、皮膚科を受診するのがよいと思います。

Q3：ガラス繊維なので見えにくいのですが、医院や病院を受診する目安を教えてください。

A3：「痛みが取れない」場合や「ガラス繊維が真皮に達して出血する」のであれば、局所を刺激しないようにして、通常外来を受診することよいと思います。

夜間の救急外来にかかる緊急性はないと思います。幼児の場合は皮膚が薄いので、出血をきたしやすい可能性があります。皮膚科ではダーモスコープという皮膚拡大鏡で観察し、抜くことができるのであれば除去しますし、痛みも弱くなっているなら自然脱落による治癒を待ちます。

ガラス繊維の断片が皮膚に刺さった場合、時間の経過とともに徐々に皮膚表面へ上がってきて自然に排出されます。赤く腫れて炎症を起こすこともあるかもしれません。

●このテストの詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページ 商品テスト結果「ガラス繊維強化プラスチックによるけがに注意！一傘の骨やテントの支柱、園芸用ポールなどに使われていますー」で見ることができます。